

令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和3年9月）会議録

日 時：令和3年9月10日（金）午後6時00分～20時00分

出 席：大橋 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

1 開会のあいさつ

大橋：皆さんの協力がありサマーイベントが無事に終了。懸念していた午後の学習支援のお手伝いは恐縮するくらいスタッフの方が多い場面もあった。緊急事態宣言が9月末まで延長となったので、この会議も時間を有効に使い20時までには終わりにしたい。

石川：サマーイベントが無事に終わり本当に良かった。ありがとうございます。大橋会長が作成した報告書類（カラー版）はこの会議で回覧する。

2 令和3年度地域活性化講座について

(1)「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

- ・ご協力ありがとうございました。

- ・委員感想

大橋：どこかで時間をとり次年度に向けて考えたい。今日は委員の感想をお聞きしたい。

広瀬：子ども達が皆楽しそうにしていた。大成功だったと思う。

浅見：今年初めて参加した。子ども達はせっかくの夏休みもコロナで行く場所が限られてしまったが、サマーイベントで色々な機会を提供できたことがとても大きなことだった。今年皆と一緒に体験できたことをまた次に生かしたい。

長谷川：今年はお役に立つことができなかった。来年機会があれば参加したい。

岩元：子ども達が楽しそうにしているのを見るとこちらも元気になる。フルートの演奏は子ども達が本当に楽しそうにできて嬉しく思った。来年もまたできたらと思う。

小林：左利きの小学1年生の男の子がすごく頑張っていて立派だと思った。兄弟仲良くしているのを見てとても感激した。

大橋：はさみを使うことが初めから分かっていたら、左利き用のはさみを持ち物に入れても良かった。

増田：準備して下さった先生が大変な手間をかけてくれた。受講したお子さんの質問内容もとても素晴らしかった。太極拳は難しい話しかないと聞いていたが、子ども達はきちんと受け止めていたのであの時間は素晴らしいと思った。

大橋：ポッチャでは渡辺さんのお母さんが「子ども達が落ち着いていますね」と話してくれた。普通は試合になると仲間割れや罵声ができるが、ここではゲームがうまく進み子ども達が落ち着いていると言って頂き嬉しかった。

加藤：午後のイベントが素晴らしいと思った。中央大学の生徒が手伝いに来てくれた。学生が終わったあとイベントに参加しことも良かったと話していた。

石川：収支報告は記載の通り。

森：どんぐり工作と太極拳に参加した。いつもと違う経験ができて子ども達にとって良かった。来年度は、工作に関してはもう少し自由度があると良い。割と出来上がっている物を使ったので、講師の準備が大変だったろうなと思った。太極拳は話が長かったので、飽きてしまった子どももいた。実技の時間が長くて良かったと思った。

(2)「にしすな夜間塾<第5弾>」について

- ・日程 10月2日(土) 14:00～
- ・開催場所 西砂会館
- ・講師
- ・講座の内容

大橋：10月2日(土)午後2時から会場は西砂会館ということまで決まっている。太極拳は大人向けの指導はあるが、小さい子どもには厳しい。身体を動かす系で何かあるか。ターゲットが西砂の中でも西の方になるので今までやった内容でも良いと思う。

石川：夜間ではなくなるので名前を変える話も出ていた。夜間を取り「西砂塾」はどうか。内容について。泉体育館の館長が筋トレ講座をしているがどうか。難しい場合は、前にお願ひした姿勢講座の佐藤明子さんもいる。

浅見：西村さんはお父さん向けのプログラムや、高齢者の健康体操の取り組みを行っている。知識もあり対象別で内容を考えてくれる。親子向けでリクエストしても良いと思う。

大橋：西村さんにまずは依頼してみる。今までにない試みで面白そう。

増田：コンセプトを変えて実施するのか、コロナが収まるまでこれでやるのか。

大橋：ターゲットは子育て世代で変わってない。金曜日の夕方実施はコロナで難しいので、食事は無くても親子で参加できる曜日を考え土曜日の午後の案が出た。ゆくゆくは夜間塾が親御さんにとって出やすいと思う。

加藤：夜間塾は、親御さんが仕事の後参加がしやすいように食事を含めて実施した。今回はコロナで夕食が出せないなので土曜日の昼に開催することになった。

広瀬：児童館の協力を得て始まった。

大橋：場所が変わっても児童館の関わりや協力は問題無いか。

小笠原：問題無い。10月は特別企画でこの時期だからこうしたよ、でも必ず夜間に戻るとお伝えする。前提として夜間、親子で保育付きで食事の心配はしない柱があれば今回のみの落とし所かなと思う。

大橋：10月は特別。金曜夜間の開催は動かさない。

小笠原：館が変わった時の保育の状況。保育の為に職員を児童館外に連れ出すのは難しい。なので、特別編では必ず親子一緒にできる内容を意識して頂けると良い。

大橋：場所が変わることにより恩恵を受ける人が増えるかもしれないが、保育を考えた時は難しい。その場合は講座の中で保育を補うことが大事。西村さんにもその点はお話をする。

(3) 「地域再発見・地元を学ぼう！」について

① 立川は何故、立川と言うの!?

- ・日程 9月12日(日) 14:00~16:00
- ・会場 西砂学習館 視聴覚室

② 砂川の成り立ち(砂川の始まりは・・・)

- ・日程 9月26日(日) 14:00~16:00
- ・会場 西砂学習館 視聴覚室

③ 砂川を歩こう(講座で聞いたことを確かめよう!)

- ・日程 11月14日(日) 14:00~16:00
- ・集合場所 西武拝島線 武蔵砂川駅 改札
- ・解散場所 多摩モノレール 砂川七番駅

○ 9/10現在の申込者数25名(定員30名)

○ 委員の参加協力者(敬称略)

① 大橋 浅見 長谷川 小笠原 岩元 広瀬 森 増田

② 大橋 浅見 岩元 広瀬 加藤 森 増田

③ 11月なので次回の運協で伺いたいと思います。

※講座の内容は録音する。

(4) 「西砂川での災害を考える<第5弾>」について

- ・日程 11月27日(土) 18:00~
- ・自治会アンケート 9/10現在で、18自治会中12自治会提出
- ・講座の内容等

自治会長に事前にアンケートを取り内容を考える。

- ・立川災害ボランティアネットとの打合せ

石川: アンケート参照。この地域は新興住宅地でしっかりしたお家が多い為、関心がある項目は「避難所」、「支援物資」となったことが特徴と思う。アンケートにはなるほどということが沢山書かれていた。これを参考に立川災害ボランティアネットと打ち合わせをして詰めたい。当日の自治会からの参加は12自治会で20名位の見込み。

大橋: 18自治会の内12自治会20名の参加が見込まれるので外部の募集はしない。立災防との打合せにはクロスロードのこともあるので浅見委員にも参加して頂きたい。

広瀬: 今回の講座は地域の防災担当者が顔を合わせる。勉強をすることよりも、お互いが知り合うことがこの講座のメインと思う。20名が知り合い確認しあうカリキュラムにしたい。

大橋: 自治会の防災担当者は集まって顔合わせはしているか。

岩元: 自治会が主催して地域防災訓練を持ち回りで毎年実施している。その協議の時に顔合わせをしているがコロナ禍で訓練が行われてないので1、2年はないと思う。また、

例年であれば賀詞交歓会や自治連主催の新年会に防災担当の方の参加している場合もあるが今はないと思う。

大橋：まず顔を知り、情報交換ができていざという時に同じように動ける意識を作る意義もあると言うことを打ち合わせでお話したい。

3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学校コーディネーターとの会合を振り返り

- ・意見交換で出た意見の取扱いについて
⇒ 次回開催時のフィードバックに使用する
- ・次回の開催について
⇒ 日程と内容

石川：会合には2人のコーディネーターが参加。皆さんがカードに書いたものをまとめた
が、それをフィードバックするような感じで実際どうすれば具現化できるか、年度内
にもう一度やりたいと思う。

大橋：8月5日に会合を持った。なぜこのような会合を持つのか、学社一体の話や地域で学
校を支える話等、共通認識を持ち、地域で子ども達の為に何かできるか、エリアの中
で何か子どもを育てる活動ができないか、建物を使い子どもの学びを支えることが
できないかについて、個人の考えをカードに書き提示してもらい終わったが、もう一
度思いを発表してもらい、共有し、それを形にしていくことができるのかを詰めてい
ったら良いのかなと提案した。もしかすると2回目は他のコーディネーターも来て
くれるかもしれない。あれだけアイデアが出たので何か1つでも形にできたら良い。

広瀬：良いのがたくさんできていた。

大橋：学校には情報を逐一お伝えしている。個人名は載せていないが出た提言はお知らせし
ている。

岩元：大橋会長の熱い思いで話が具体化していくのかと驚いている。学校側の担当の方にも
参加して頂ければもっと良くなる。

大橋：どこが窓口なのか分からないので校長先生と副校長先生に情報を提供している。そう
ではない担当がいれば。調べてみる。次回は11月、3回目は3月に実施したい。

岩元：学期に1度のペースが良い。

大橋：コーディネーターが一番参加しやすい曜日で会議を開きたい。

石川：平日の夜間で基本的に考えている。

(3) 「西一元氣通信」第3号の発行について

- ・発行月は、4月・7月・10月・1月（年4回）
⇒ 第3号は10月1日発行
- ・スタイルはA3二つ折り（4ページ）
- ・掲載記事

石川：(案) 参照。1 面には目を惹くものがあると良い。サマーイベントのページに副校長先生にはコメントを下さいとお伝えはしてある。

岩元：鈴木さんのお名前が前のコーディネーターの名前になっている。

大橋：学校の管理職だったという立場もあり、ついでに来て何かコメントを下さいと言われても難しいと思う。事前に副校長先生に掲示物の許可の確認をし、依頼文には主旨を書き、お持ちした。感想やコメントがあれば 200～300 字程度で頂けたらとした。校長先生から快諾は得ていないので通信には空欄にしているが、コメントを頂けたら載せる。前から地域の方から通信に対してコメントを頂けたらとあったが、行事があった時に関係する団体からコメントを頂くのが自然かと思う。サマーイベントは子どもの活動なので、校長先生からコメントを頂けるとありがたいと思っている。

広瀬：親御さんに感想をお願いしたらどうか。

大橋：今からだと人選が難しい。

加藤：学習支援に来てくれた方にはお願いできる。

石川：青野先生は続けて来てくれているのでお願いできる。

大橋：5 回来て頂いた山本さんはどうか。学習支援の方にお礼をする機会がなかったので今回は考えたい。

加藤：山本さんは 8 月から市民推進委員会に入った。

大橋：何人かに依頼する。保護者からのコメントは来年度考える。

広瀬：最後のページについて。地運協は地元に浸透していない。地運協をもっと知ってもらいたいので、地域の方にも書いてもらいたい。書いてもらうことで地運協を知ってもらうことにつながる。

大橋：実際活動があったら書けると思う。活動をしたら関係部署に書いて頂き、声を載せていくようにしたい。

【参考】運協資料より(若干アレンジ) **第3号** 令和3年10月1日発行

紙面	内 容	納期	担当
1面	タイトル(2/8) 講座「地元を学ぼう」の紹介(5/8) 2面以降の目次(1/8)	7/15	事務局
2面	サマーイベント(実績) ☆ 見開き全体 ☆ 写真を多く ☆ 西砂小・松中小の校長の感想やコメントも頂ければ	9/23	()
3面	掲載		
4面	講座「西砂川での災害を考える」の紹介(1/4) 講座「認知症予防講座」の紹介(1/4) 西砂地区の地域情報[※ 副校長の感想もある場合コ コ](1/2)	9/1 9/1 9/1	事務局 事務局 ()

(4) フリースペースについて (報告)

小林：少しだけ先が見えてきた気がする。

(5) 各委員から報告及び連絡事項(報告)

加藤:8月から色々な講座を実施している。去年中止にした交流クッキングは、今回は実施。

講師はこいけ先生。講師のデモンストレーション中心に、食器は使い捨て容器を使い、定員を8名に減員した。クラシック講座もコロナ禍ではあるが実施した。山本さんが8月から市民推進委員会に入った。西砂学習館に来て良かったと話していた。

広瀬:昨日からシルバー大学の園芸講座に参加。柴崎福社会館で実施。立川市の農業は砂川に偏り、富士見町には全く無いとのこと。農業はこの地域が非常に多い。地域を考える場合はその辺を考えて良さを活かしたい。それが農家の方にとっても良いことなので一緒にやっていたら良い。

浅見:今年の夏はサマーイベントをはじめ色々なグループが色々な場所で子どもの取り組みをしていてあっという間に駆け抜けた。9月が始まりこれからのシーズンは外に出やすくなる。秋は秋で違う忙しさになるかと思う。社共もいくつか講座を企画しているので、皆様にもご連絡していきたい。

小笠原:夏休みは大きな事故も無く無事に乗り切った。緊急事態宣言が延長になり今月の企画は全て中止だろうと職員も落ち込んでいる。その分10月の企画に向けて動き出している。7中も修学旅行が延期になり子ども達にしわ寄せがきていると心配している。広報最新号で「拡充型放課後子ども教室」が掲載されている。モデルケースが松中小、大山小、二小で来年4月からスタート。学童とランドセル来館の併用が出来ないので保護者が混乱しているのが実情。どのような事業者がくるのかもこれからとのこと。

長谷川:10月31日に子ども育成課から保護者向けの説明会がある。現在市内全小学校に放課後子ども教室を学校独自のやり方で行っている。まず関わっている運営委員会、サポーターへお知らせが必要だと9月30日に運営委員会を開き、子ども育成課に直接聞いてみたいと思っている。中学生の主張大会について。9月1日~3日、6日にPTAの協力を得て全部の作文を読み10編を選び提出した。今年の傾向は誹謗中傷とSNSについての作品が多かった。

岩元:西砂文化会では、10月30日、31日の文化祭は中止が決まった。1日も早く元気に行事が出来るように祈っている。参加しているコーラスの会では毎月会場の予約をしているが、9月も中止とした。10月は出来ると良いと思っている。7中で学習支援をしている。数学を担当している方が引越しになり、欠員になっている。このような時にコーディネーターが間に入り調整してもらおうが良いかと思うが難しい。

大橋:岩間さんはいかがか。

岩元:確認してみる。

小林:特にありません。

森:西砂パソコン倶楽部。講座を行っているが参加者からは何回聞いても良いと言われていた。1回聞いて終わりではなく、繰り返しでも新たな発見があって面白いとのこと。どんな講座もそうなのかなと感じた。9月14日、15日は西砂学習館でパソコン講座がある。夜間塾は「夜間塾~昼間出張講座」と『臨時』感を出すと理解して頂けるのかなと思う。西村さんは筋トレ仲間の人柄がとても良い方。

増田:立川財政を考える会では、8月29日にどうやったら市民の声が行政に届けられるかというテーマで行った。次は9月19日に防災をテーマに行う。「自分達が危機をどう察知するか、どう身を守るかについて」を3時間かけて話し合う。災害は絶え間な

くやってくる。無料なので時間がある方はご参加下さい。

俣本：寿教室を担当している。緊急事態宣言が延長された為 9/3 に予定していたコースが中止となった。会員はとてもがっかりしていた。早くコロナが収束することを願っている。

石川：イケアから家具の寄付依頼があり少し多めにベンチや棚を頂き視聴覚室に置いている。保育室はソファを置いた。広瀬さんに紹介して頂いたコントラバス奏者の川野さんと打ち合わせをし、12月12日クリスマスコンサートの実施が決まった。他、市民企画の「100万回生きたねこ」等を今後予定している。

大橋：人権擁護委員をしている。委員が11名いてランダムに作文60編が届く。そこから2編を選ぶ。7中の子供達を書く力がすごいと思う。学校として書くことに力を入れているのが伝わる。そのような姿勢がすごく分かり嬉しい。

増田：財政の勉強を市内中学校でやろうと7中に行った時に原稿用紙が常に生徒の側にあり他校と違う雰囲気を感じた。挨拶も良く素晴らしい学校。

4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、10月14日（木） 18：00～20：00

◇ 夜間の開催の場合、必ず午後8時に終了。

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・**回覧** 西砂サマーイベント実施報告（会長作成）
- ・西砂サマーイベント事業報告
- ・西砂サマーイベント参加協力委員実績
- ・西砂サマーイベント収支
- ・西砂サマーイベント学校掲示板の写真
- ・「地域再発見・地元を学ぼう！」①② 当日配布資料
- ・講座「西砂川での災害を考える」に係る自治会意識アンケート【集計】
- ・西一元氣通信 第3号のイメージ